

授業 コード	11312	科目名	イノベーション論		担当者		山下 紗矢佳			
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S2	
【授業概要】										
イノベーションを議論するにあたり、いわゆるベンチャーといった企業が議論の中心になりがちである。しかし本来のイノベーションはベンチャーのみに限らず、既存企業の革新的行動をも含めイノベーションと捉える。すなわち、イノベーションを発現するにあたり既存の企業家を含めた広い意味での企業家がイノベーションの担い手となる必要があるのである。本科目ではイノベーションの基本的概念からその担い手であるイノベーターについて広く概観することを目的とする。										
【到達目標】										
次の点を、本講義の到達目標とする。 (1)イノベーションと経済活性化の関係について理解し、説明できる。 (2)企業家に求められる要件や企業家を育むにあたって必要な施策について考察できる。										
【授業方法・計画】										
授業は配付資料をもとに講義形式で進める。映像等を利用することもある。										
第1回	ガイダンス									
第2回	日本経済の変遷と持続的成長									
第3回	イノベーションの諸定義									
第4回	イノベーションの諸定義									
第5回	日本産業発展とイノベーション - 第二次世界大戦まで -									
第6回	日本産業発展とイノベーション - 第二次世界大戦後 -									
第7回	アメリカのイノベーション									
第8回	日本のイノベーション - 企業の役割 -									
第9回	日本のイノベーション - 産業の役割 -									
第10回	日本のイノベーション - 政府の役割 -									
第11回	日本のイノベーション - 大学の役割 -									
第12回	ベンチャー・経営革新・第二創業									
第13回	中小企業政策とイノベーション									
第14回	まとめ									
【準備学習・復習】										
予習(100分):授業計画および授業方法に記載されているキーワードについて事前に調べておくこと。 前回の授業時に指示する資料をよく読んでおくこと。 復習(100分):講義内容を復習しノートにまとめておくこと。 関連する文献を調査し、本を読むなどして理解を深めること。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
成績発表後以降のオフィスアワーにて、定期試験の問題解説や採点基準などの説明をおこなう。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
私語厳禁。必要に応じてノートをとること。										
成績評価方法	毎回のレポート:50% 筆記試験:50%									
教科書	授業中に適宜紹介する。									
参考書	授業中に適宜紹介する。									
SE2306	授業に関連する実務経験				なし					